

新生“朝日みどり小学校”誕生まで（概略）

（初代校長畠山嘉次先生がまとめた文章です）

平成12年3月31日（金）、高根小学校と高南小学校の両校は、輝かしい歴史と伝統を残すとともに、幾多の有為な卒業生を輩出し、「閉校」する。

閉校記念の各種事業や、開校に向けての各種アンケート調査、引越し作業等々、朝日村当局はもちろん、校区民やPTAから多大なご指導・ご協力を得る。

開校するに当たっては、両校の伝統を生かしながらも、新しい風を吹き込み、「統合して良かったと言える学校を創ろう」を合言葉に取り組む。統合当初の人間関係を確立し、力を注いだのは言うまでもない。その一環としての両校児童間（学校間、学級間）の交流は、延べ10数回に及ぶ。教職員間では、教育計画作成等で、度々会合を開き確実に意思の疎通を深める。

平成12年4月1日（土）、両校の対等合併の下で、統合新設校である「朝日みどり小学校」が誕生する。

1 両校の沿革

	創 立	歴 史	卒 業 生	所 在 地
高根小学校	明治10年	123年	2,289人	高根1,940番地
高南小学校	明治35年	98年	2,465人	中原2,726番地

2 閉校に向けて、両校とも実施したこと

- 「記念誌」の発行
- 「記念品」の準備
- 「記念碑」の建立
- 「閉校記念式典」・「惜別の会」の開催
高根小学校 平成12年3月4日（土）
高南小学校 平成12年3月5日（日）

3 開校に向けて

- 新校舎の「竣工式」及び「一般公開」 平成12年3月15日（水）
- 教育計画の作成
 - ・ 国や県、朝日村の教育課題や動向を探る。
 - ・ 両校の保護者や職員によるアンケートを実施し、新校区の教育課題や期待される児童像を検討する。
 - ・ 統合新設校であることを認識する。
 - ・ チャレンジ精神を根底においた「教育目標」を仮設定する。

「 あたたかい心 つくりだす力 」

※ 書家の板垣正吾（雅号：梧舟）氏に書いていただき、その額を体育館に掲示する。

- ・ 重点目標仮設定等々、以下（略）

○ 校章と校歌の制定

- ・ 前もって、両校がPTAの協力を得ながら児童と校区民から募集する。

「校章」

- ・ 両校児童考案のデザインを参考にし、村上市二之町の大浦啓一氏が制作する。村花ひまわりの花の中に、豊かな大自然（緑）と、その中で気高く逞しく、更なる向上を期して努力する児童たち（白・薄紫）をイメージする。

- ・ 円形・・・協調、団結、仲良しなどを表現する。

「校歌」

- ・ 作詞は、朝日村村長の中山与志夫氏、作曲は、武蔵野音楽大学教授の大滝雄志氏（蒲萄出身）に委ねる。

※ 書家でもある中山与志夫（雅号：竹径）氏に書いていただき、その額を体育館に掲示する。

○ 校旗の製作

- ・ 校名にあやかり、緑地に校章を入れる。教育委員会の指導を受ける。

○ 体操着の製作

- ・ 両校の保護者（親子で相談）や、職員によるアンケート調査（デザイン、カラー、価格等）を踏まえ、PTA役員と職員で決定する。

○ 通学方法の制定

- ・ 高根と北大平集落の児童（旧高根小全児童）は、通年スクールバスで通学することになる。薦川集落の児童（旧高南小一部児童）は、保育園のバスで従来どおり。

○ PTAの新設

- ・ 規約の作成 ・ 役員の構成及び選出方法 ・ 会費その他

※ 両校PTA役員が中心になり、数多く会合を重ねる。

4 朝日みどり小学校 「開校」 平成12年4月1日（土）

- 児童数211人、職員数26人、初代校長には前高南小学校長の畠山嘉次氏が、初代PTA会長には関口集落の加藤和夫氏が就任し、スタートを切る。

- 「開校式」・「第1回入学式」 平成12年4月5日（水）